

2021 年度第 7 回 N P O 法人共同保存図書館・多摩理事会

- 1 日 時：2022 年 3 月 2 日（水） 午後 8 時 00 分～9 時 30 分
- 2 方 法：ZOOM アプリを媒介にしての遠隔会議
- 3 議決権のある理事：9 名
出席者：座間直壯、清田義昭、齊藤誠一、田中ヒロ、手嶋孝典、中川恭一、堀 渡
欠席者：保坂一房、堀越洋一郎
事務局員の参加者：雨谷逸枝

(1) 第 1 号議案 会員の動向について【報告】

- ・ 2022 年 3 月 1 日現在
正会員 80 名 2 団体 賛助会員 36 名 1 団体、計 116 名 3 団体（合計 119）

(2) 第 2 号議案 第 2 回多摩デポ実践講座の開催について【報告・討議】

- ・ 2 月 18 日（金）チラシを印刷し、多摩の図書館宛てと会員宛てに、それぞれの参加呼び掛け文を付けて発送した。HP にもアップ。JLA のメールマガジンには本日掲載された。
- ・ 開催日は 3 月 8 日（火）、申込締め切りは 3 月 4 日（金）。
- ・ 検索事例を職員向けのものから一般的な検索内容に置き換え、広く検索についての謎を探るプランで、書名に記号が含まれるものや、難読の著者名などを取り上げる。第 1 回を補足しつつ、次の展開を目論む企画とした。
- ・ 「多摩デポ実践講座」はもともとは多摩地域の現役職員の力をつけ、多摩デポとの繋がりをつけることを狙って始めたが、今回は、参加者を多摩地域の現役職員だけでなく、多摩デポ会員の方やさらに非会員で地域の違う方でも構わないということにして募集している。今回の募集がどういう反響や結果になるか分からないが、この形で一度やってみる。
- ・ 現在の申込者は 8 人。元図書館員と市民が半数。申込ではまだ現役の手ごたえが少ない。
- ・ 講座終了後、まだ残れる方にだけは残ってもらい 30 分間の交流会を予定している。また参加者にはアンケートをお願いするが、文面は前回とは少し違える必要があり、検討中。

(3) 第 3 号議案 第 3 回多摩デポ実践講座の企画と見通しについて【報告・討議】

- ・ TAMALAS 一括処理システムを活用した大掛かりな閉架書庫（自動化書庫）の点検作業を実施中の府中市立中央図書館の担当者（笹川氏）の報告とシステム構築に携わられたカーリル吉本代表との、資料保存と資料の活用について考える企画は、2 月 4 日に、館長協議会図書館サービス研究会と、多摩デポの共催による職員向け研修会として約 50 分の録画を収録した。
- ・ この研修動画は公開が遅れているが、3 月初旬には多摩地域の各図書館職員に公開される予定。（多摩デポにも提供してもらえることになっており、会員への公表が考えられる）
- ・ この動画への各館の職員からの感想や意見の集約結果を、館長会から多摩デポにもフィードバックしてもらい、研修をさらに深掘りする企画を 4 月中旬に実践講座の第 3 回として企画する。当初は年度内に実施することを目指していたが、研修としての公開が遅れているので、この頃になる予定。新年度に入った直後となるので、新しく除籍担当になった職員にも呼びかける。館長協議会の新年度の体制への多摩デポの紹介、橋渡しにもなるだろう。

(4) 第4号議案 2022年度通常総会の開催方法と企画について【報告・討議】

<考え方>

- ・過去の2回の総会は、公共施設の集会室を借りて会員が集まる総会の開催を予定し、前月になって新型コロナウイルス感染症のリスクがあるから「書面評決票」で会員の意志を問う総会を行うというふうに変更していった。予約した総会会場は使えなくなり、一昨年は総会記念講演会を延期した。昨年は総会記念のイベントを予定できなかった。
- ・総会前にNPO法人を管轄する東京都の主管課に相談したが、NPO法人が方針を決めるのは「書面評決」等による会員の議決で問題はないが、総会は役員だけでも集まって開催し、議事録を作り、それを都に提出するようにしなさいという見解だった。
- ・そのため2回とも、通常総会の開催通知と議案書と書面評決票を会員に送付しながら、会場は用意してあるが「会員はできるだけ来場しようとせず、書面評決の提出をしてください」という依頼を行った。
- ・最終的には2回とも借りた施設が使用中止になり、多摩デポ事務所に役員だけが集まったの総会開催となったが、事務所にはWIFI設備がなく、会員への報告はあとで文書送付するだけとなった。
- ・前回1月の理事会では、コロナ感染症に流行の波はあるが同様の事態が長期に続いているのだから、今回は臨時の応急避難的対応ではなくできる工夫したい、総会記念講演会やイベントはやれる方法を考えて、ぜひ実施できるといい、リモートでも会員が参加できることを考えたいという指摘があった。ぜひ組み込んでいきたい。

<提案>

- ・コロナが収まっていないので、総会の成立と議案の評決は、過去2回と同様に会員の書面評決での意志表明を促して、総会が成立できるように図る。
- ・ただしWIFIの使える集会施設を借り、ZOOMで会員に実況が見せられるようにする。またZOOMが見られない会員のため、状況が許せば会場に来てもらえるようにもする。(過去ずっと使っていた国分寺労政会館にはWIFIの設備がないので、設備のある会場を借りる)
- ・ZOOMによる総会記念講演会や対談イベントなどを行う。
- ・総会プレイベントとして、ZOOMによる会員の意見交換会を書面評決の締切前の時期に行う。「コロナ禍の読書と図書館の不自由、コロナ禍だから見えてきた読書と図書館の意味。互いの近況紹介」などを自由に語り合う。短いレポーターを立ててもいい。

<日程・会場>

- ・総会は、5月28日(土)午後2時~3時 調布市たづくり(調布駅近く)
- ・総会プレイベントは、5月初旬に開く

<総会記念イベント案>

- ・事前の事務局会議の議論から出されてきたア、イ、ウの案。事務局長から追加で出されたエの案が出され、議論した。

ア コロナ禍により、国立国会図書館の蔵書のデジタル化したデータの利用の容易化が計画されている。著作権法改正が一気に進み、著作権がまだ切れていなくても絶版であれば、5月からは個人への配信が可となり、来年からは全文のプリントも可となるという。これは利用のためにはいいことなのだが、今後、保存スペースがひっ迫する図書館の蔵書保存の考え方に影響を与えていくかもしれない。国立国会図書館の担当者に計画内容を聞く。

イ 多摩市では来年度の開館をめざして中央図書館の建設が進められているが、多摩地域では大変久しぶりの動きとなるので、その進捗状況を聞く。

ウ コロナ禍での図書館の全体状況の俯瞰、その中で注目したい図書館活動の動きなどを適当な方に依頼して語ってもらう。

エ「本と本屋の楽しみ、図書館遊びの楽しみ……どむか氏のお話を聞く」

- ・長年の書店ウォッチャー、まちライブラリー実践家の「どむか」氏は、近年は「奥多摩ブックフィールド」の整備に尽力しているが、本名では多摩デポの会員。

- ・社会制度、社会基盤として普段語られる書店、図書館問題とはひとあじ違う視点・関心から長年にわたり熱心に、書店、本、出版、図書館に触れてこられた氏に、考えてきたことややってこられたことなどを聞く。できれば ZOOM で事前に録画し、総会の日公開する。

→ 国立国会図書館の配信計画については、新年度の多摩デポ講座で取り上げたらどうかという意見があった。

→ どむか氏に話してもらう企画に賛成意見が出たが、再度、事務局で検討して次回の理事会に諮ってもらうことになった。

(5) 第5号議案 次年度の事業の考え方について【報告・討議】

- ・2021年度は、多摩地域の現役職員を対象に、新たに多摩デポ実践講座を立ち上げることはできたが、広く会員や非会員をも対象とした従来からの多摩デポ講座ができなかった。リアルな集会か、コロナ禍が続いてオンラインで行うかはともかく、計画では両方を目指していた。

- ・職員の意識を掘り起こし、共同保存の担い手や研究に加わる方を育てるには、現役職員を主な対象にした実践的な活動を模索することは必要。

- ・2022年度には、現役職員向けの多摩デポ実践講座と、広く会員や非会員にも話題を提供して共に考える多摩デポ講座の2本立てが行えるようにする。

- ・たましん歴史資料室の協力によって実現した研究活動を広域の地域資料の同定や ISBN が付いていない蔵書の同定方法の開発へと進めていく。

- ・研究活動で新たな同定方法を開発したり、啓発活動で希少資料を残す日常活動の浸透を図ったりすることはもちろんだが、同時に、NPOとしてはリアルな共同保存図書館の実現の検討を追求していく。

- ・今回の総会は、役員改選期ではないので、提案しなければならない議案は4本である。

- ・今後、具体的には、総会議案書の骨子を事務局内で検討し、理事会にはできるだけ3月中には提案できるようにする。

(6) 情報交換

- ・事務局からは特になし

【多摩デポ関係記事】

- ・時になし

【共同保存図書館関連論文】

- ・特になし

【今後の予定】

- ★ カーリルとの共同研究 第 60 回定例会 3 月 25 日（金）午後 8 時～、 Zoom を使って
- ★ 事務局会議(2021 年度第 13 回) 3 月 14 日（日）午後 7 時 30 分～、Zoom を使って
・ 第 2 回多摩デポ実践講座に向けての事務局打合せ 3 月 6 日（日）午後 7 時 30 分～、Zoom で
- ★ 次回理事会 2022 年度第 1 回理事会 4 月 12 日（火）午後 8 時～、Zoom を使って
(この日で議案書、講演者など総会準備の審議が終えられなければ、4 月 19 日にも予定)

5 議事録署名人の選任

議事録署名人として 2 名を選任することを諮り、清田義昭理事、堀 渡理事を選任することを全員異議なく承認した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2022 年 3 月 2 日

議長

議事録署名人

議事録署名人